

49:1 アモン人について。主はこう仰せられる。「イスラエルには子がないのか。世継ぎがないのか。なぜ、彼らの王がガドを所有し、その民が町々に住んだのか。

49:2 それゆえ、見よ、その日が来る。・・主の御告げ。・・その日、わたしは、アモン人のラバに戦いの雄たけびを聞かせる。そこは荒れ果てた廃墟となり、その娘たちは火で焼かれる。イスラエルがその跡を継ぐ。」と主は仰せられる。

49:3 「ヘシュボンよ。泣きわめけ。アイが荒らされたから。ラバの娘たちよ。叫べ。荒布をまとえ。嘆いて囲い場の中を走り回れ。彼らの王が、その祭司や首長たちとともに、捕囚として連れて行かれるからだ。

49:4 裏切り娘よ。あなたの谷には水が流れているからといって、なぜ、その多くの谷を誇るのか。あなたは自分の財宝に拠り頼んで、言う。『だれが、私のところに来よう。』

49:5 見よ。わたしは四方からあなたに恐怖をもたらす。・・万軍の神、主の御告げ。・・あなたがたはみな、散らされて、逃げる者を集める者もない。

49:6 そうして後、わたしはアモン人の捕われ人を帰らせる。・・主の御告げ。・・」

アモン人への預言からも、私たちは学ぶことができます。彼らが「ガドを所有し」とあるのは、イスラエル北王国がアッシリアから滅ぼされたときに、機に乗じてそこをかすめ奪ったのです。そのために彼らはさばかれるということです。私たちもそのような身勝手な振る舞いがないか、自戒するのは良いことです。

神を信じないこの世の出来事にも、色々な教訓が含まれています。また神様の正義を見ることもでき

ます。多くはさばきという形でもかもしれませんが、この世を見て、主から学びましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

